

## 内容:

- 東北新幹線が意味するところ
- 2011年度第1回役員会

## 北から南から

- 北海道BMC

## 編集後記

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

## 東北新幹線全線開通が意味するところ

4月29日、東日本大震災後に各区间で運転を見合わせていた東北新幹線ですが、東京―新青森間の全線がついに開通しました。

予定より1日早い全線開通は、オールJRの意地だと思えます。タイムスの第2号で書きましたが、震災翌日の3月12日には、九州新幹線の博多―新八代(熊本県)間が開通しているのに、東北新幹線の全線開通で、青森県から鹿児島県までの新幹線がつながったこととなります。何よりも、東北新幹線の再開は、日本に元氣

を生み出します。特に、旅行業界、ホテル業界には明るい話題です。ゴールデンウィークに間に合って良かったと思います。経済は、カネだけでなく、ヒトモノも動かなければ活性化しません。1万円を持ったままでは、GDPは上がりません。1万円が動いて初めてGDPがあがるのです。つまり、節約=GDPの減少です。また、カネが動くにしても、一部だけではなく、動きが鈍化しているところを動かさなければいけません。先日、私の所属するロータリークラブの創立記念例

会では、東北の食材を使用した献立と、東北の日本酒を7種類用意して開催されました。当初、記念例会は自粛したほうがいいのかという意見も出ましたが、自粛することが東北の人たちにとって、本当にいいことなのかを議論した結果、先述のような形での開催となりました。

さて、我々の中で誰が一番先に、新幹線全線を制覇するか競争しましょうか？

全国 B.M.C.会長  
伊藤 保  
(以上)

## 2011年度第1回役員会

5月16日、京都ホテルオークラ栗田山荘において、2011年度第1回役員会を開催します。

議題は

- 今後の運営
- 夏期研修会、会長会
- 震災に関して

などの予定です。

年に2回の貴重な会長会を有益なものにするための事前会議です。

開かれた組織として、みなさんの意見を参考にしながら

ら、運営をしていきたいと考えています。

尚、夏期研修会及び会長会は予定通り7月7日、四国BMCのホストのもと、ホテルクレメント徳島で開催いたします。

若手コンペティションが中止になりましたので、その代替案も議論する予定です。

伊藤 保

## 北から南から

### 北海道B.M.C.

皆さんこんにちは。3月11日の震災から1ヶ月が経ちました。今回の震災で被災された皆様、ご家族、関係者の皆様方に謹んでお見舞い申し上げます。そして、被災者の救助に全力を尽くしていらっしゃる方々に敬意と感謝の意を表すと共に一日も早く普段の生活に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。この度の震災に伴い、北海道B.M.Cでは各加盟ホテルと共に地震発生以来会員ホテル間の情報交換、募金活動や節電活動

## 全国 B.M.C.

2011-2012 年度会長

ホテルグランヴィア広島  
伊藤 保

〒732-0822  
広島市南区松原町  
1 番 5 号

TEL:  
082-262-1111

FAX:  
082-262-4050

E-MAIL:  
[t\\_ito@hgh.co.jp](mailto:t_ito@hgh.co.jp)

Web サイト

URL:  
<http://www.e-bmc.com/>

などを行ってまいりました。連日テレビで放映されています通り、被災地の方々は、大変な避難生活を余儀なくされています。被災地の一つである仙台市には、私のホテルのグループホテルがありますが今回の震災で被害を受け、そこに所属する仲間も大きな影響を受けました。北海道内においても観光需要を牽引していたアジアからの旅行客が途絶え、道民の間では自粛ムードが蔓延、ホテル、飲食店では宴会のキャンセルが相次ぎ、高額商品を扱う商業施設も不振で、道内の観光、

もてなすためのノウハウを豊富に持っています。ホテルは衣食住の中の「食・住」の提供が可能なのでハードを備えているのですから、B.M.C としてもお客様の安全や心身の拠り所として機能が果たせるよう日常の仕事の内容、流れ、体制の見直しを図っていきたく思います。

さて、北海道 B.M.C ですが、当初 4 月に予定していた例会を 5 月に延期開催する予定です。また、7 月開催の夏期研修会の準備も現在進めております。3 月に、北

### 編集後記

北海道BMCの平尾会長の記事にもありますが、アジアも含め、海外から日本へのお客様が激減しています。ホテル業は宿泊がメインですから、その影響は大きなものです。

私のホテルでも、その影響を最小限に抑えるべく、緊急対策会議を開き、増収と経費削減の両面からいろんな案を出し、実施に向けて調整をしているところで

飲食、物販など幅広い業界に深刻な影響が広がっております。今回は地震だけではなく原発の問題も起きているので、これが消費者心理に対しても様々な影響を及ぼしております。自粛することも大事ですが、何を自粛して何を行うべきなのか、私たちにとって過去に例をみない難しい判断を迫られています。先日、あるホテルが地震発生後に地域の方々の館内に受け入れ、緊急避難先として場所を提供し、ミネラルウォーターや歯ブラシを配っている様子がテレビのニュースで流れていました。

は JR 札幌駅、南はすすきの駅まで通じる駅前通り地下歩行空間が完成し、札幌中心部のアクセスが充実し、地元の方々や観光客にとっても快適で便利な空間が誕生しました。過剰ともいえる自粛ムードの中、街からネオンが消え、節電による商業施設の営業短縮など本当に今まで経験したことのない逆風が吹いています。しかし、嘆いていても、落ち込んでいても仕方がありません。ホテルマンとして働ける喜びをかみしめながら前を向いて、お客様を笑顔でお迎えした

まさしく「Do it」ですね。

その中で、献身的な行動をしているホテルマン達を見て、あたためて、私たちにできることは何かを考えさせられました。「ホテルの本当の価値とは何だろうか」。それは、見た目の豪華さ、設備の素晴らしさ、食事のおいしさなどではない、私たちは、どれだけ親身になってお客様やスタッフのことを考えて行動できるか、すなわち「ホスピタリティーの心」が今こそ試される時だと再認識いたしました。そして知識と知恵を持ち、「柔軟な心と判断力」が必要だと感じました。ホテルは日常お客様を

いと思います。私たちの行動で少しでも被災地の方々の光になれるよう、今まで以上に前向きなアクションを起こしていきたいと思っております！

「がんばれ！東北、がんばれニッポン！！」

北海道 B.M.C.  
会長 平尾 昌司

■北から南からの予定  
5 月・・・北海道(今回予定)  
6 月・・・沖縄(次回掲載)  
7 月・・・四国  
8 月・・・東京  
9 月・・・京滋奈  
10 月・・・中国  
11 月・・・九州  
12 月・・・名古屋  
1 月・・・北陸

では、沖縄の新川会長よろしくお願いたします。